

一般会計決算 4日間集中審査

9月議会

8/24～9/24



令和元年度一般会計決算は、全議員参加の予算決算常任委員会、9月11日から16日まで、4日間にわたって集中審査が行われました。小西・岡田議員は評価すべき点、問題点を指摘し、令和2年度予算の執行、令和3年度予算に活かすよう積極的に発言しました。委員会に付託された令和2年度補正予算については賛成、令和元年度決算認定については、小西議員が反対討論を行いました。山岡議員は、監査委員という立場から一般会計決算の審査については、傍聴となりました。

課題・問題点を積極的に指摘

予算決算常任委員会、初日に総務部長が決算全体の総括説明を行った後、代表監査委員から決算監査にあたっての所見が述べられました。このあと、総括的な質疑、総合政策部、総務部など部局ごとの審査が行われました。2日目、3日目と各部局ごとの決算審査が行われ、最終日の16日には、総括質疑、討論、採決が行われました。また、新型コロナウイルス感染症対策を中心とした令和2年度補正予算についての質疑、採択も行われました。

小西議員の反対討論 (要旨)

- (1)決算全体で、歳入歳出とも当初予算より大幅な増額で、過去最大規模の決算となった。予算に基づく執行という点で、十分な検討が必要。
- (2)市債総額のうち、合併特例債が市債の約85%を占めている。市長は「合併特例債といえど借金に変わらない」とされており、今後検討が求められる。
- (3)歳入のふるさと納税は、約1億5千万円であるが、その半分は経費に支出されている。
- (4)歳出では、AIやアウトソーシングが導入されたが、人員削減でなく職員拡充、質の向上をはかるべき。陶芸の森前私有地取得は今後の用途が示されず問題。あいコムこうかへの多額の支援の検証も必要。中学卒業までの医療費無料化など市民の願いに応えた決算となっていないことなどを指摘し反対討論とする。

小西議員が一般会計決算について行った反対討論の趣旨は左の通りです。

「議員間討議」のあり方問われる

日本共産党議員団が議長に申し入れ

9月8日に開催された厚生文教常任委員会、議会改革で提起された「議員間討議」が初めて取り入れられました。テーマは、「小中学校給食費の負担軽減・無償化を求める請願」。議員間討議の実施要綱では、「議員相互に十分な討論、議論を尽くし、合意形成に努めることを目的とする」と明記されています。「議員間討議」は是としながら、さまざまな問題と今後にかさずべき教訓があったことから、日本共産党甲賀市議員団として11日、谷永議長に「議員間討議のあり方」に申し入れました。

申し入れの骨子は、①委員会冒頭に岡田議員が「な

ぜ請願を議員間討議のテーマにしたのか」と問いましたが、戒脇委員長は何の説明もなく「委員長の権限で意見は却下する」と岡田議員の質問を退けました。委員長として説明が必要ではなかったでしょうか。

②討議途中、岡田議員の発言に対する委員長の受け止めにに対し、竹若議員が指摘したことを捉えて、戒脇委員長は竹若議員に「退室」を命じました。合意形成を図るべき委員長がとるべき態度ではなかったのではないか。自由な討論を保障しながら合意形成を図るのが議員間討議の大事な点です。「今後にかさずべき」と求めました。

請願 委員会不採択

請願署名2, 888筆

小中学校給食費の負担軽減・無償化を求める請願書

8日に開かれた厚生文教常任委員会、小中学校給食費の負担軽減・無償化を求める請願の審査が行われました。審査に先立ち請願人の新日本婦人の会の田代君代さんから主旨説明が行われました。その後、議員間で討議。審査の結果、賛成は2人で不採択となりました。凜風会の山中善治議員が、無償には多額の財源がかかるなどと反対討論、3月議会で給食費の負担軽減、無償化を取り上げていた公明党の堀議員も反対。賛成討論は、無党派の竹若議員と岡田議員が行いました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2020年 9月 20日 第325号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696